

2021 年度
能力強化研修

日本サニテーションコンソーシアム（JSC）協力
**「汚水管理と City-Wide Inclusive
Sanitation：都市における包括的汚水
管理・汚水処理サービスの実現」**

2021 年 11 月 16 日（火）～ 11 月 19 日（金）

募集要項



※当研修はオンラインで実施することといたします。
※募集期間を延長（9月17日（金）→9月24日（金））

独立行政法人 国際協力機構
人事部開発協力人材室

はじめに

多くの開発途上国では、急激な経済発展と都市部への人口集中により、生活環境が悪化するとともに公共用水域の水質が悪化している。また、不衛生な状態に伴う水系伝染病の発生や、河川や湖沼、地下水等の水源の水質悪化等により、人々の健康に対するリスクも増加している。開発途上国における深刻な課題の一つは、我が国におけるし尿処理の抱えていた課題（し尿の不法投棄）と公共用水域において生じた水質悪化（汚水の未処理）の2つの課題が同時に起きていることにある。

このような課題に対応していくには、安全なサニテーションと污水管理による良好な水環境及び生活環境の保全、及びこれに伴う水の適切かつ効率的な利用、健全な水循環の形成と維持が必要となる。2016年11月、世界トイレの日に世銀を中心としたドナー機関は City-Wide Inclusive Sanitation（以下、CWIS）イニシアティブを宣言した（表1参照）。CWISは2015年9月に採択されたSDGゴール6.2及び6.3の達成を明確な目標とするもので、衛生環境のあるべき姿を示した概念、衛生環境の改善に係る事業の在り方を示したものである。また、2018年7月にJICAが策定した「水環境管理分野ポジションペーパー」では、SDGs6.2及び6.3の達成を目標にして、開発途上国の経済発展段階に応じて污水处理施設の整備を行うこととしている。加えて、JICAは都市域の住民が健康で衛生的、かつ快適な暮らしを持続的に享受できる「きれいな街」づくりを「JICA・クリーン・シティ・イニシアティブ」で打出しており、污水管理分野では、都市域全体の住民が等しくその恩恵を受けられるよう、CWISの考え方に基づいた包括的なアプローチによる都市域での衛生的な生活環境の確保や、都市の健全な発展、良好な水環境の実現等を目指している。

開発途上国における多くの都市では、サニテーションサービスチェーン¹は民間サービスプロバイダーに委ねられており、ODA事業ではし尿処理を主目的とした施設整備やプロジェクトの実績は多くない。SDG6.3と比較してSDG6.2に係る都市衛生環境の改善は非常に重要な事項にもかかわらず、これまであまり重要視されていない状況にある。今後、都市におけるサニテーションサービスチェーンが効果的に実施されることを通じ、SDG6.3に加えてSDG6.2の着実な達成を目指すことが同分野での国際協力に求められている。

本研修は、途上国の污水管理におけるCWISのアプローチに関し、その考え方、事例、関連するツールの活用方法などに係る知識や事例を把握するとともに、我が国における集中型処理/分散型処理/し尿処理の特徴とCWISの関係を理解し、今後の途上国における衛生改善のための計画立案に関するノウハウを得ることを目的とする。本研修を通じて、し尿処理、分散型処理及び下水・浄化槽一体型展開の事業など下水道以外の選択肢も念頭においた包括

¹ し尿の貯留 → 引き抜き → 移送 → 処理・処分・再利用 というし尿処理に求められる一連のプロセス。多くの途上国では、官側の関与が少なく民間に一連のプロセスが委ねられており、このことが腐敗槽からの汚泥越流や、収集汚泥の不法投棄の一因となっている。

的なアプローチに対する支援へのニーズにこたえる国際協力人材を育成することを目標とする。

表 1 CITYWIDE INCLUSIVE SANITATION A Call to Action (World Bank, 2018)

CWIS (読み方は、「シーワイズ」) は、以下のことを含むと定義される (World Bank, 2018)。

- ・ すべての人が適切な衛生サービス提供の結果から恩恵を受けること
- ・ し尿がすべての衛生サービスチェーン (し尿の引き抜き・運搬/移送・処理・処分/再利用) を通して安全に管理されていること
- ・ 効果的な資源再利用や再使用を考慮すること
- ・ 現地条件への適応性があるとともに、他技術と統合させ技術的な発展性がある多様な技術的解決策が取り入れられること
- ・ 途上国の現状により適合するように、集中処理と分散型処理を適正に組み合わせるような計画とすること

更に CWIS では、都市は長期計画・技術革新・組織強化・財政強化を含む統合的なアプローチにより開発される必要があり、これらを可能にするには次の点が必要であるとされている。

- ・ 政策決定者の意思、技術的及び管理運営面に関するリーダーシップを示すこと
- ・ 改革に対して信頼できる推進者に焦点をあてること、
- ・ 新しく創造的な方法でサニテーションに対する財政を管理していくこと

出典 : CITYWIDE INCLUSIVE SANITATION A Call to Action, World Bank , 2018.9

<http://pubdocs.worldbank.org/en/589771503512867370/Citywide-Inclusive-Sanitation.pdf>

1. 研修コース名、研修期間、募集人数

(1) 研修コース名：2021 年度能力強化研修「汚水管理と City-Wide Inclusive Sanitation: 都市における包括的汚水管理・汚水処理サービスの実現」コース

※本コースはアジア開発銀行研究所 (ADB) との共催で実施する予定。

(2) 研修期間： 2021 年 11 月 16 日 (火)～ 11 月 19 日 (金) (4 日間)

(3) 募集人数： 15 名程度

(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも参加者 (若干名) を募集する予定)

2. 応募要件

本研修の応募者は、下記の全ての要件を満たす方とします。

(1) JICA の専門家・調査団員等として JICA 事業に携わる意思があること。

(2) 研修の全日程に参加可能であること。

(3) 専門能力・経験：

開発協力事業における汚水・汚泥管理に関する 5 年程度の実務経験を有すること。

(4) 語学力：下記の基準以上の語学力を有することが望ましい。

英検準 1 級、TOEIC 730 点、TOEFL CBT 213 点 / iBT 79 点、国連英検 B 級

※上記は JICA 専門家語学ガイドライン A レベル (高いコミュニケーション能力が求められる案件の専門家に求められる語学力) 相当

※保持している語学力に係る公的資格を、履歴書に必ず記載してください (取得年月が新しいものを優先すること。また、取得年月も記載すること)。

※研修の講義及びディスカッションの使用言語は英語を予定していますので、講義の理解とディスカッションに参加できる英語力を有することが望まれます。

3. 研修会場：本研修はインターネット上でオンラインの形式で開催されます。

4. 研修概要

(1) 目的

途上国の汚水管理における City-Wide Inclusive Sanitation (CWIS) のアプローチに関し、その考え方、事例、関連するツールの活用方法などに係る知識や事例を把握するとともに、我が国における集中型処理/分散型処理/し尿処理の特徴と CWIS の関係を理解し、今後の途上国における包括的な汚水管理・衛生改善のための計画立案に関するノウハウを得る。

(2) 具体的目標

- ① CWIS の考え方、関連するツールの活用方法などに係る知識や事例を把握する。
- ② 我が国における集中型処理／分散型処理／し尿処理の特徴と CWIS の関係を理解する。
- ③ 今後の途上国における包括的汚水管理・衛生改善のための計画立案に関するノウハウを得る。

(3) 研修プログラム

講義日時	AM/PM	講義・演習名
11月16日 (火)	AM	コースオリエンテーション JICA の汚水管理(クリーンシティイニシアティブ)と CWIS への取り組み
	PM	ビル&メリンダ・ゲイツ財団(BMGF)の CWIS の取り組み ADB における CWIS の取り組み 我が国の経験①汚水管理の経緯:し尿処理から汚水処理へ
11月17日 (水)	AM	我が国の経験②分散型処理施設:浄化槽、ISO 外国事例① インドネシア 外国事例② マレーシア
	PM	外国事例③ フィリピン 外国事例④ インド
11月18日 (木)	AM	①我が国の取り組みと外国の事例(汚水管理技術) ディスカッション(途上国に適した技術、高濃度処理、再利用 等) ②我が国の取り組みと外国の事例(組織実施体制と財政メカニズム)
	PM	ディスカッション(組織体制・PPP、財政制度・料金等) ③ADB における計画策定・法制度・DX の取り組み・実施事例 ディスカッション(政策・モニタリング・事業運営等)
11月19日 (金)	AM	事例検討(グループディスカッション) これまでの講義やディスカッション内容をベースとして、ある途上国を対象とした CWIS の考え方に基づいた汚水管理手法について、ファシリテーターのリードのもと、グループディスカッションを行います。
	PM	グループディスカッション(発表・質疑) 総合討論: CWIS 実施のために重要な視点 修了式

※ 研修時間は 9:00 ~ 17:00 予定。講義・ディスカッションは 9:00~16:00。16:00 からは 1 時間程度の振り返りセッション(当日内容の確認、翌日以降の予定紹介、参加者間の自由討議、質問と回答等)を予定しています。

※ 本プログラムは、暫定版のため変更の可能性があります。

5. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届かない場合は、6 ページ「国際協力人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に国際協力人材登録(簡易登録不可)がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

※新規登録手続きには、3営業日程度を要しますので、お早めに登録ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

【PARTNER 登録の注意事項】

同じく入力フォーム 4 ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。

② 推薦書

所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。

③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、障害のある方などで合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(6 項目目)に必ず記載をお願いいたします。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください(予め応募書類をご準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記(2)の応募書類を添付してください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

6. 応募締め切り：2021年9月17日(金) → **2021年9月24日(金)**
締切日を延長しました。

7. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2021年10月13日(水)**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

8. 修了証の発給：全日程の研修を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

9. 参加費用：無料

10. 留意事項

- (1) 情報保障等合理的配慮が必要な方につきましては、お気軽にご相談ください。

- (2) 研修期間中の事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (3) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (4) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (5) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (6) 受講のために必要な経費は自己負担となります。
- (7) 本研修では、オンライン受講に必要となる端末(PC を推奨)や、安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)等を、ご準備ください。

以上

様式 1 推薦書

様式 2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【応募に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル

TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp